

## 宗内寺院紹介 62

京都教区第五部

## 清香山 寂光院



①



⑤



②



③



⑥



④

①本堂 ②庵室跡地 ③桜と本堂 ④山門 ⑤宝物殿前 ⑥参道

京都教区第五部  
清香山 寂光院住 所 / 〒601-1248 京都市左京区大原草生町676  
電話番号 / 075-744-3341

推古二（五九四）年に聖徳太子が父・用明天皇の菩提を弔うために建立されたと伝えられる。本尊は地藏菩薩で、鎌倉時代に制作された旧本尊（重文）は、平成十二（二〇〇〇）年火災により焼損し、現在は再建された地藏菩薩像が安置されている。尚、江戸時代初頭に再興された本堂はこの火災で焼失し、現在の本堂も古式通りに再建された。

歴史上に寂光院の名があらわれるのは、平清盛の息女・建礼門院徳子が文治元年（一一八五）年に閑居してからである。女院はこの地で滅亡した平家一門と我が子安徳天皇の菩提を弔いながら終生を過ごした。

本堂前西側の風情ある庭園は『平家物語』にも描かれるもので、花摘みから帰って来た女院が後白河法皇と対話する「大原御幸」の場面にも登場する。心字池を中心に千年の姫小松や汀の桜、苔むした石のたたずまいが往時を偲ばせる。